



ジャン＝ミッシェル・フォロン《対話》1975年 フォロン財団蔵 ©Fondation Folon ADAGP/Paris, 2024-2025

ハルカス大学連携 スペシャル・トーク (通訳付)

「フォロンを追いかけて-Touching Folon-」

2000年に設立されたフォロン財団の理事長を務められ、生前のフォロンとも親交の深かったステファニー・アンゲルロット氏に、フォロンとの思い出や作品の魅力、日本とのつながりなどについてお話いただけます。

日時 4月5日(土)14:00~15:30(13:30開場)

講師 ステファニー・アンゲルロット氏(フォロン財団理事長)

会場 あべのハルカス23階セミナールーム
(17階からエレベーターにお乗りください)

定員 70名(事前申込制・先着順)

※聴講は無料ですが本展観覧券(半券可)が必要となります。

お申し込みは2月4日(火)10:00よりハルカス大学Webサイト、お電話、もしくはハルカス大学受付(あべのハルカス23階キャンパスフロア)にて承ります。定員になり次第締め切ります。

【ハルカス大学】Webサイト <https://harudai.jp/> 電話 06-6622-4815

たまご&ひよこDAY

お子さま連れの方も気がねなくお楽しみいただける休館日貸し切りの鑑賞会です。会話しながら鑑賞された一般の方にもご利用いただけます。

日時 5月12日(月・休館日) 11:00~15:00

対象 妊娠中の方やお子さま連れの方および同伴者、会話しながら鑑賞されたい方

観覧料 通常料金と同額

ジュニアガイドで楽しく鑑賞!

中学生以下のお子さまには、鑑賞のヒントが書かれたジュニアガイドをプレゼント!(美術館入口にて先着順にお渡しします。なくなり次第終了)

写真撮影について

一部の作品のみ撮影が可能です。展示室内に表示されたご案内をご確認ください。

このほかにも各種イベントを開催予定です。最新の情報は美術館公式HPおよび大阪展HPをご確認ください。

観覧料(税込)	当日	前売・団体
一般	1,900円	1,700円
大高生	1,500円	1,300円
中小生	500円	300円

【チケット販売場所】あべのハルカス美術館ミュージアムショップ(美術館開館日のみ)、あべのハルカス美術館ホームページ(オンラインチケット)、近鉄駅営業所、ローソンチケット(Lコード:54469)、チケットぴあ(Pコード:687-105)、イープラス、セブンチケット(セブンコード:108-183)、CNプレイガイド、楽天チケットなど。

超早割! チケット 一般1枚 1,500円(税込)
販売期間:10月12日(土)~1月17日(金)

2枚でおトク! 一般2枚組 3,200円(税込)
前売ペアチケット ※お一人で2回に分けてのご使用も可能です。
販売期間:1月18日(土)~4月4日(金)

大阪マリオット都ホテルとのセットプラン

ホテルのグルメと観覧券をセットにしたプランもご用意します。

※団体は15名様以上。※前売券は1月18日(土)から4月4日(金)まで販売。※障がい者手帳をお持ちの方は、美術館チケットカウンターで購入されたご本人と付き添いの方1名様まで当日料金の半額。※チケット購入の際にプレイガイドによって各種手数料が発生する場合がございます。※「ハウル・クレ一展」(3月29日[土]~5月25日[日]兵庫県立美術館)および特別展「日本国宝展」(4月26日[土]~6月15日[日]大阪市立美術館)の半券提示で本展の当日券を100円引きまでご購入いただけます。(1枚につきお一人様1回限り有効。他の割引券との併用不可)

販売場所:あべのハルカス美術館ホームページ(オンラインチケット)、ローソンチケット(Lコード:54469)、チケットぴあ(Pコード:687-105)、イープラス、セブンチケット(セブンコード:108-183)、CNプレイガイド、楽天チケット。前売ペアチケットは、あべのハルカス美術館ホームページ(オンラインチケット)での販売はございません。

詳しくはこちら▶▶▶▶▶

あべのハルカス美術館へは、シャトルエレベーター【乗り口:地下1階または2階】をご利用ください。

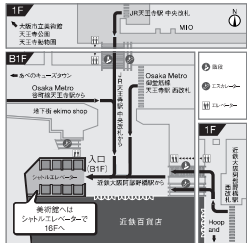
あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

〒545-6016 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43

あべのハルカス16階
【お問い合わせ】06-4399-9050
【美術館公式HP】<https://www.aham.jp/>

【大阪展HP】<https://www.ktv.jp/event/folon/>

【展覧会公式HP】<https://ourfolon.jp/>



近鉄「大阪阿部野橋駅」、JR・Osaka Metro「天王寺駅」、阪堺上町線「天王寺駅前駅」下車すぐ。※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

Agency of Imaginary Journeys

FOLON

世界と出会う旅

自分をみつめる旅

空想旅行案内人

ジャン＝ミッシェル・フォロン

2025.4.5(土)~6.22(日)



あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

ジャン＝ミッシェル・フォロン《いつもとちがう(雑誌「ザ・ニューヨーカー」表紙原画)(部分)》1976年 フォロン財団蔵 ©Fondation Folon, ADAGP/Paris, 2024-2025

◎休館日:4月7日(月)、5月12日(月)
◎開館時間:火・金/10:00~20:00 月・土・日・祝/10:00~18:00 ※入館は閉館30分前まで
◎主催:あべのハルカス美術館、産経新聞社、関西テレビ放送、フォロン財団(ベルギー)
◎後援:ベルギー王国大使館 ◎特別協力:ベルギー王国フランス語共同体政府 国際交流振興庁(WBI)





《無題》 1974年



《無題》

Agency of Imaginary Journeys

FOLON



《綱渡り筋》 1973年



《ごちそう》 1983年

「絵はなんでもできるんだ。
謎を生み出すことだって。」



名刺
「フォロン 空想旅行エージェンシー」
1990年頃

ここに、1枚の名刺があります。ベルギー出身のアーティスト、ジャン＝ミッシェル・フォロン（1934—2005）が、実際に使用していたものです。そこには、FOLONの名前とともに、AGENCE DE VOYAGES IMAGINAIRES（空想旅行エージェンシー）と記されています。つまり、空想の旅への案内人を、自ら名乗っていたのです。



フォロン、ミラノにて
1968年
（撮影：コレット・ポルタル）（部分）

ベルギーの巨匠マグリットの絵に魅せられ、美術の道を志した彼は、実に多彩な才能を発揮したアーティストでした。アメリカの有名雑誌にドローイングが掲載されたことをきっかけに、その名は世界へと羽ばたいていきます。日本を含め各国で展覧会が開かれ、彼自身も世界中を旅して、その経験を創作のエネルギーとしていました。

詩的でユーモアに富み、やわらかな色彩とかろやかなタッチで表現されたフォロンの作品は、見る人を空想の旅へと連れ出してくれるとともに、この世界で起きているさまざまなことからへの気づきをも、もたらしてくれます。この旅を通して、私たちは絵空事ではない世界の現実と向き合い、自分自身をつみ分け直すこともできるはずです。

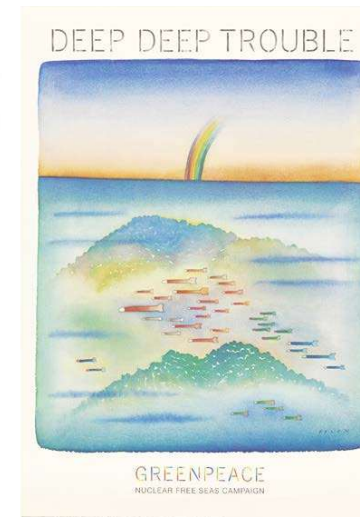


《無題》 1983年頃

日本では30年ぶりの大回顧展となる本展では、フォロンが生み出した絵画や写真、ポスター、彫刻やオブジェ、アニメーションなど約230点を一堂に紹介します。道連れの「リトル・ハット・マン」とともに、作品の中の世界を見回し、耳を澄ませてみましょう。そこには、一筋縄ではいかない謎やメッセージが隠れているかもしれません。

想像力をカバンいっぱい詰めこんだら、いざ、出発です！

なにが聴こえる？



《グリーンピース 深い深い問題》 1988年



《無題》

あっち・こっち・どっち？



《人》 1992年



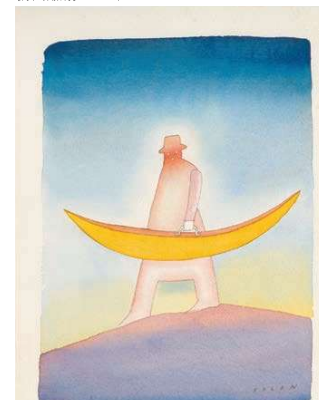
《無題》（部分）

《大天使》 2003年



なにを話そう？

《月世界旅行》 1981年



《『世界人権宣言』第5条のための挿絵原画》
1988年



《無題》

《都市のジャングル》



《無題》 1968年頃



《1番目の考え》（部分）
1997年

